



【発信日】 令和4年1月18日

【問い合わせ先】

大野市教育委員会事務局

生涯学習・文化財保護課 担当 佐々木、酒井

電話 0779-65-5520

大野で発見「東アジア初のアンモナイト化石」を展示します

～大野市歴史博物館で期間限定公開～

大野市歴史博物館では、県立恐竜博物館が令和3年12月24日に発表した、本市和泉地区の約1億6640万年前（中期ジュラ紀）の地層から発見された東アジアで初めての種類となるアンモナイト「エピストレノセラス属」の化石を期間限定で公開します。つきましては、市民をはじめ、多くの皆さんにご来館いただきたく、事前周知と期間中の取材をお願いいたします。

記

- 展示資料 別添資料のとおり
①エピストレノセラス属の化石 1点
②別種のアンモナイト化石 数点
- 展示場所 大野市歴史博物館（大野市天神町2-4、電話 0779-65-5520）
- 展示期間 令和4年1月28日（金）から 3月27日（日）まで
- 開館時間 平日（土曜日含む） 午前9時～午後4時
日曜日・祝日 午前9時～午後5時
- 入館料 300円（団体30名以上 150円）、中学生以下は無料
- 取材について 担当学芸員が対応しますので、事前に取材日時をお知らせください。

展示資料について

①東アジア初のアンモナイト化石

エピストレノセラス属の一種

時代：約1億6640万年前（中期ジュラ紀
バトニアン期）

発見の意義：これまでにヨーロッパ、インド、
中南米などから発見されていたが、東
アジアからは今回が初めての発見とな
る。今後、中部縦貫自動車道大野油坂
道路の和泉トンネル建設工事に伴い、
さらに多くの重要な化石の発見が期待
される。



②別種のアンモナイト化石（比較として）

チョッフアティア属の一種

時代：約1億6600万年前（中期ジュラ紀
カロビアン期）



ペリスフィンクテス・マツシマイ

時代：約1億6000万年前（後期ジュラ紀
オックスフォード期）

